

定例市長記者会見録

日 時：8月26日(月) 午後1時30分～1時55分

場 所：本庁舎6階 特別会議室

出席者：一 宮 市 中野市長、福井副市長、山田副市長

報道機関 中日新聞、朝日新聞、読売新聞、中部経済新聞、共同通信社

本日の案件は二つです。

1 番目は『BISHU FES.』の開催について」です。

尾張の国・尾州は毛織物を中心に繊維産業で栄え、その尾州の一宮で2023年にTGC（東京ガールズコレクション）を開催しました。今回は、TGCのようなビックイベントはできませんが、それでもこのお祭りを定着させていこうと、2回目を開催することとなりました。イベントの大きな柱は繊維産業ですが、それに加えて芸術と食をテーマにした総合イベントとして「BISHU FES.」を開催します。10月12日（土）、13日（日）にi-ビル7階シビックホール、一宮駅、銀座通商店街、本町商店街、オリナス一宮などで開催します。

大きな目玉としては、繊維産業ということで、ファッションショーを12日（土）に開催します。i-ビルのシビックホールで定員260名の事前申し込み制とさせていただきます。こちらは、POSTELEGANT（ポステレガント）という人気ブランドで知られる中田優也さんプロデュースのショーになります。他にも、TGCではなく「BISHU GENTLEMEN COLLECTION」の頭文字をとってBGCというファッションショーを行います。BGCでは、市内事業者の国島侑さん、葛利毛織工業(株)さん、長大(株)さんが製造した生地を使って仕立てたスーツを男性モデルが着用して登場します。また、小塚毛織(株)さん（EYCK：エイク）、(株)ソトーさん（MOVB：モーヴ）、(株)東伸さん（DELIY：デリー）、中伝毛織(株)さん（織地也 Originali：オリジナリ）は、それぞれの企業が生地のみならずアパレルの最終製品を発売されている市内事業者で、各企業の製品を紹介することになっています。

ご協力いただく大学・専門学校として、岐阜市と連携するNOBIプロジェクトに関連して、繊維・ファッション関係の岐阜市立女子短期大学さんに加え、名古屋モード学園さんにもご参加いただきます。

今回、力を入れているところは販売です。できるだけ地域のビジネスに直結する形で踏み込もうと取り組みを進めています。こうしたランウェイで紹介された製品は翌々週に名古屋のタカシマヤゲートタワーモール4階で販売会を実施します。また、「BISHU FES.」当日の会場でもネットでスマホなどを使ってショーの服が購入できるという仕組みも予定しています。

それ以外に、当日の会場では尾州製品の小物なども販売させていただきます。前回はTGCという大きな枠組みで、すぐに地域産業に直結する仕組みを作りきれなかったところがありますが、今回はそこを補って、より地域経済・地場産業に波及効果があるような取り組みを進めます。そのほか、本町商店街にランウェイを作ってファッションショーを行う「本

町商店街ストリートランウェイ」や、「出張手芸部 in 尾州」、「NINOW -TEXTILE PROGRESS IN JAPAN- 尾州版」、「タフディングワークショップ」など、前回も好評でしたので今回も実施します。そして、オリナス一宮が今年 100 周年ということで記念展示を実施します。また、「BISHU FES. Marche II」など、前回やったものを踏襲しつつ、さらにバージョンアップさせたり工夫を凝らしたりして、盛大に開催したいと考えています。

少し話は変わりますが、尾州に関連して「映画『BISHU～世界でいちばん優しい服～』」を PR させていただきます。10 月 18 日に全国公開され、その 1 週間前の 11 日にこの地域で先行公開されます。ちょうどこの「BISHU FES.」の前日から劇場公開されるということで、タイアップしていろいろ仕掛けていきたいと考えています。市の観光協会ではフィルムコミッションで撮影場所の紹介や占用許可関係の協力をさせていただきました。エキストラでは一宮高校の生徒も出演していますし、一宮市のいろいろな風景が盛り込まれています。金銭的な支援なくやっていただけたということで非常にありがたいと思っています。

2 番目は「令和 6 年度 9 月補正予算(案)に計上された主な事業」です。

主なものをいくつかピックアップしてご紹介させていただきます。

No. 1 「高齢者補聴器購入費助成金の増額」

高齢者向けに補聴器の費用を 3 万円まで補助することを今年度初めて実施しました。これが大変好評で、30 名の方に対して 90 万円の補助を予想していたところ、7 月開始の申し込み受け付けですぐに枠がいっぱいになってしまいました。このため、助成金を増額して、最大 60 名の方に対応できるようにするものです。

No. 2 「高齢者等を対象とした新型コロナの予防接種」

新型コロナワクチンの予防接種です。これまでは全て国の特別事業ということで実施していましたが、この冬からはインフルエンザなどと同じような対応となります。そのために必要な経費として、5 億 2,250 万円ほどを計上するものです。高齢者の方などに一部を自己負担していただき、定期接種という枠組みへ移行します。

No. 3 「道路・側溝の緊急的な機能強化等」

道路・側溝や河川などの緊急的な機能強化です。県から補助をいただき、道路改良工事や舗装新設改良工事など行います。幹線道路ではない生活道路にもきめ細やかな対応をするということで、9,500 万円を計上して災害に強いまちづくりを進めていきたいと考えています。

No. 4 「財政調整基金積立金」

2024 年 3 月末で約 75 億円積み上がっていましたが、4 月に 40 億円ほど取り崩していますので、残りは約 35 億円という状況です。今回約 12 億円を積み立て、基金の残額を 47 億円ほどとします。

No. 5 「市営地下駐車場の出入口シャッター等の設備修繕」

ラウンドアバウト付近に銀座通公共駐車場の出入り口があり、そのシャッターが 7 月の七夕まつり前に壊れて一時的に使用できなくなりました。少し手を入れて今は使える

ようにはなっていますが、シャッターを新しいものに取り替えるための修繕費用を計上します。

銀座通公共駐車場を含め駅前の市営地下駐車場は、今年4月から「入場から20分まで無料」を始めました。これまではi-ビル駐車場が20分無料で、一宮駅を利用する人の送迎などでも使われていましたが、i-ビル駐車場の20分無料がなくなりましたので、それに伴い、新たに市営地下駐車場で20分無料を始めたものです。このため、地下駐車場の収入が減るだろうと見込んで当初予算を組んでいましたが、数カ月経ってもそこまで減らないことが分かり、歳入予算額を当初の年間8,900万円から9,400万円に500万円ほど上方修正します。そうした歳入の増額と合わせて、今回1,250万円超のシャッター取替え工事の費用を公共駐車場特別会計に計上します。

以上、私からの説明とさせていただきます。

質疑応答

■「BISHU FES.」の開催について

(記者) 開催期間の12日(土)、13日(日)より前に始まるイベントが一部あるようですが、これらの先行イベントも「BISHU FES.」に含まれますか？

(市長) オリナス一宮100周年記念展示は10月4日(金)から始まりますが、今回発表させていただいたイベントは全て「BISHU FES.」の内容を構成するものという位置付けです。「BISHU FES.」そのものは、12日(土)と13日(日)がメインということで考えています。

(記者) 今年の「BISHU FES.」の開催に向けて、期待することは何ですか？

(市長) 昨年の「BISHU FES.」の大きな狙いとして、尾州ブランドをいかに広めていくか、認知度をいかに高めていくかと考えた時に、弱点とされていた若年層・女性をターゲットにということが言われていました。昨年は初めて神社でTGCが開催されたこともあり、TGCサイドも非常に力を入れてくれて全国に発信できたので、所期の目的は達成できたのではないかと考えています。

今年はまだ一度原点に戻って、尾州の強みである紳士服のスーツやジャケット、婦人服やフォーマルなものも含めて、全年齢層にメッセージを届けられるような企画にできたらいいなと期待しています。

(記者) 昨年は女性がメインだったのですか？

(市長) 若い女性に知っていただきたいという思いがあって、TGCサイドにお願いをして、その思いに応えていただきました。昨年は地元企業の皆さんからの協賛金もあり、全体で1億円を超える規模のイベントとなりました。市からも5,000万円くらい支出しましたが、今年度の市の予算としては約3,000万円です。予算規模は昨年ほどではないですが、昨年の盛り上がり今年もうまく生かしながら、幅広い世代にメッ

セージを届けられたらいいなと期待しています。

(記者) ランウェイで披露されるのは、どのようなものが中心となるのですか？

(市長) i-ビル 7 階のシビックホールで実施するファッションショーは、少し年齢層が高めのアパレル製品が多いと思います。本町商店街のストリートランウェイでは、高校生のファッションコンテストやファッションショー、コスプレランウェイがあり、こちらは若い方向けのものが多くなると想定しています。

(記者) 中田優也さんを起用した理由は？

(市長) FDC (公益財団法人 尾州ファッションデザインセンター) とのお付き合いがあり、中田さん自身も尾州に関心や愛着を持っていただいております、新進気鋭の方だということをお願いしました。

(職員) ファッションデザイナーとして、尾州生地をご自身のブランドで多用していただいて、尾州についての造詣が深いこともあり、今回お願いしています。

(記者) 来場者数はどれくらいを見込んでいますか？

(市長) 昨年が 4 万人ぐらいでしたので同じくらいの規模を狙いますが、それよりも実利です。実のあるかたちで地域産業・地場産業の波及効果が出るような結果を残したいという思いで、企画を進めています。